みんなで

のりこえよう通信

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長室から

令和　2　年　4月　24日　　NO.10

二十三年前

　二十三年前、みなさんは何をしていたでしょうか。

　昨年の二月に同窓会が開かれました。二十三年前、中学三年生を担任させてもらったクラスの同窓会。

三十人近くの参加があり、参加率の高さに驚くとともに、SNS上では、全員に連絡がつくようになったとか。

懐かしい話やみんなが頑張っている様子が知れて、歓喜渦巻いているなか、一人の男が近づいてきます。彼が独身なのは、時々道端で偶然出くわしたりして、知っていました。ちょうど目の前に座っていた女の子に、ふと「こいつまだ独身やで」と言うと「えっ、私も」と意外な答え。その後で二人でしっぽり話していたとは、他の卒業生から聞いていました。

しばらくして、その独身の男の方から連絡がありました。「相談したいことがある」と。

何気なく聞いてみますと、なんと結婚すると。しかも相手は同窓会で再会したあの女の子だと言うではありませんか。

驚愕しました。聞けば、小学校1年生のときと中学3年生の時に同じクラスだったとか。親同士が知り合いだったとか。

中学時代は、ほとんど話をしたことがなかったはずです。

担任でしたから、それは確認していますし、保証します。

中学校を卒業して二十三年後の再会、そして、結婚。

このGWに行われるはずでした結婚式は延期。こんな少しの延期なんて、再会に要した二十三年に比べたら、ほんの一瞬のこと。

楽しみが少し先に延びて、わくわくする時間が増えたと考えています。しかし、結婚式では、どんな挨拶すればいいのだろうか。